



県章

周囲は富士山と武田菱で美しい郷土を象徴しており、中の山は3つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現しています。
(昭和41年10月1日告示)



県旗

優雅なブドウ色を地に用い、中の山は県民の和と協力を、周りの富士山は清廉潔白、純粋性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。
(昭和41年12月1日告示)



県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、果物のヤマナシがたくさん採れたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどいくつかの説があります。



県のロゴマーク

四角すいにデフォルメした富士山の右側に新緑の山々、左側に県土に流れる清流と、ブドウの紫色を配したデザインで、自然豊かな山紫水明の山梨を表現しています。

YAMANASHI



県の花【フジザクラ】

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくならず、花びらも小型で下向き加減に開きます。厳しい富士の風雪に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。
(昭和29年制定)



県の鳥【ウグイス】

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるといった優しい習慣を持っています。このことから、「明朗と慈愛」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の獣【カモシカ】

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ツ峠などの山岳地帯に生息します。高山の厳しい自然に耐えて生きていくことから「忍耐と努力」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の木【カエデ】

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。
(昭和41年9月制定)

令和3年3月山梨県発行
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
山梨県広聴広報グループ ☎055-223-1339

山梨 あらまし



この製品は、FSC®認証材および管理原料からつくられています。
印刷：(株)サンニチ印刷

やまなしの県有林は、豊かな森づくりを行っています。
世界的な基準による森林管理認証を取得し、認証面積は全国1位です。

山梨県の あらまし 2021

YAMANASHI FACTS AND FIGURES

YAMANASHI
FACTS AND
FIGURES

春 Spring

身延山久遠寺のシダレザクラ
(身延町)



夏 Summer

西沢溪谷七ツ釜五段の滝
(山梨市)



秋 Autumn

八ヶ岳連峰と八ヶ岳高原大橋
(北杜市)



冬 Winter

和田峠から甲府盆地の夜景
(甲府市)



山梨県知事 長崎 幸太郎

発刊のことば

山梨県は、東京圏に隣接した高い利便性と、富士山をはじめとする山々や清らかな水、恵まれた日照などの自然環境、高品質な食材に裏打ちされた豊かな食文化、高い技術と伝統を持つ地場産業や高レベルな研究開発を背景にした先端技術産業など、多くの地域資源を併せ持った全国でも希有な地域です。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、全世界で生活様式が大きく変わった一年でした。

本県では、飲食や宿泊などの事業者が講じる感染症対策について、県が実地を確認し、お墨付きを与えるやまなしグリーン・ゾーン認証制度などにより、これらの施設に安心・信頼という新たな価値を加えるとともに、コロナ禍にあっても歩みを止めない仕組みを構築しました。

また、コロナがもたらした社会の変化を、本県にとって最大のチャンスと捉え、デュアルライフやワーケーション、二拠点居住といった新たなライフスタイルにいち早く対応することで、外からの知恵と人材を山梨に呼び込み、本県が「あらゆる可能性に開かれた場所」として全国のトップランナーに躍り出られるよう取り組んでいきます。

この冊子は、本県の今の姿を、データを中心に分かりやすく紹介するものとして刊行しました。私たちが誇りに思っている山梨県が、どのような地域なのか知っていただくとともに、本県の持つ魅力やポテンシャルに触れていただき、本県への関心を深めていただければ幸いです。

Contents

■ 県政トピックス	3	■ 山梨の魅力	25
■ 県の組織・予算・国際交流	7	世界遺産	27
■ 山梨の姿		日本遺産	29
地勢	9	山梨の文化財	31
面積・人口・市町村	11	山梨の逸品	33
データで知るやまなし	13	山梨の郷土食	35
近現代 おもなできごと	17	■ 県立施設ガイド	37
先人	18	■ 山梨散策	37
産業	19		



豊かな県民生活の実現に向け 山梨を高付加価値化する!

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、日常生活や経済活動が大きく変化し、社会は変容を余儀なくされました。このような状況の中、山梨県は、県民の生命と生活を守るため、さまざまな感染防止対策や県民の生活を守るための対策に取り組んできました。また「一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」という基本理念のもと、コロナ後の山梨を一步前へ進めるため、教育や産業、観光など、さまざまな分野の高付加価値化に向けて取り組んでいます。

県政トピックスでは、これらの施策のうち主要なものをご紹介します。

1 県民の生命と生活を守る

■ やまなしグリーン・ゾーン構想と認証制度

山梨県は、将来にわたり本県を感染症から守り、また県民が経済活動を止めずに安心して生活することができる、感染症に対して強靱な社会への移行を目指し、令和2年5月に「やまなしグリーン・ゾーン構想」を策定しました。また、山梨全体で安心・信頼を提供するため、認証申請した施設を県が現地調査し、その施設の感染症対策の安全性を担保する、本県独自の制度である「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」を創設しました。



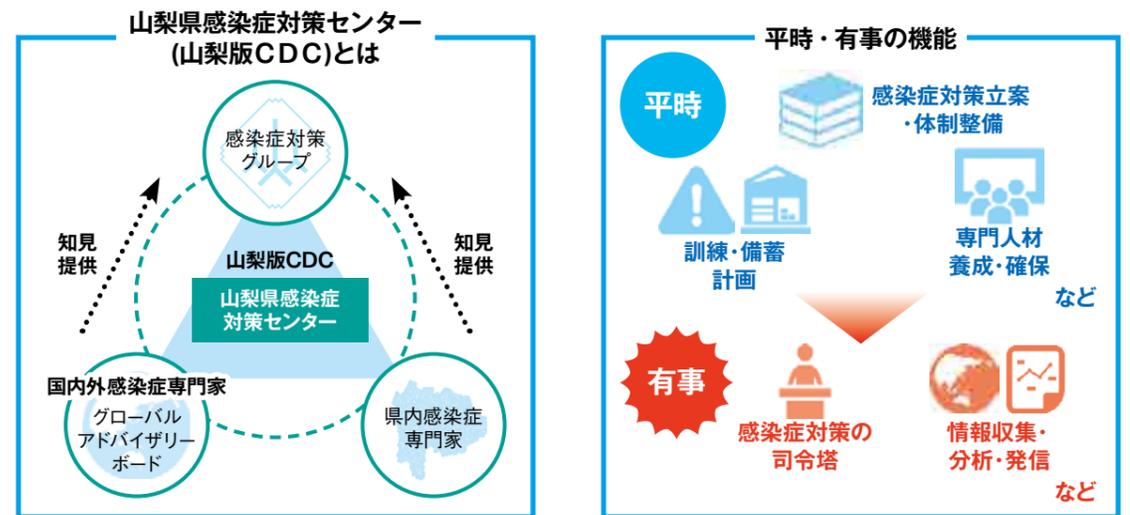
認証制度の対象となる県内飲食店などの施設のほとんどがこれまでにこの認証を受け、または認証申請をしています。また、認証を受けた施設に対しても一斉訪問を実施するなど、きめ細かいフォローアップを行い、感染症が猛威を振るう状況下にあっても「安心・信頼」という新たな付加価値を本県の経済にもたらしています。

今後は、認証制度を国際的に評価される制度とするため、感染症対策に資する最新の製品や技術に係る実証実験を行い、その成果を認証基準に反映させるなどして、引き続き制度を進化させていきます。



■ 山梨県感染症対策センター（山梨版CDC）の設立

新型コロナウイルス感染症対応における経験や知見を将来につなげ、今後起こりうる未知なる感染症への備えを強化するため、国内外の専門家から知見の提供を受けながら、本県の感染症対策の中核を担う組織として、山梨県感染症対策センター（山梨版CDC）を令和3年4月に設立します。この組織は、平時は感染症対策の立案や体制の整備、訓練や備蓄の計画、専門人材の養成・確保などによる未知なる感染症への備えを行うほか、結核・肝炎などを含む感染症対策全般を担います。また、今回のような有事には、感染症対策の司令塔として、情報の分析・発信などを行い、実効性の高い感染症対策を推進していきます。



■ 隣県静岡との協力～バイ・ふじのくに～

「バイ・ふじのくに」は、富士山を囲む山梨・静岡両県の旬の農畜水産物などを互いに購入し、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな打撃を受けた生産者を支援するために始まった取り組みです。「バイ」は、英語の「買う(BUY)」と「寄り添う(BY)」をかけており、「買ってつながる」を意味します。

令和2年5月には、本県において両県の知事によるサクランボのPRイベントが開かれました。これを皮切りに、山梨で静岡の、静岡で山梨の物産市を開催したり、両県の特産品を詰め合わせた「ふじのくに愛情パック」を販売したりするなど、互いの魅力ある特産品の販売やPRを行う多くの機会を設けてきました。この取り組みは農畜水産物のみならず、地場産品や芸術・文化交流などにも広がっています。今後もさまざまな分野で両県の交流を活性化させていきます。



2 コロナ後を見据え、高付加価値化を目指す

■ 少人数教育の推進・介護待機者ゼロ社会へ向けて

子どもたち一人一人に向き合った、きめ細かで質の高い教育環境の実現を目指し、全国初となる「25人学級編制」を、令和3年4月から公立小学校1年生に導入します。次代を担い、山梨を支える原動力となる子どもたちが、その可能性を最大限に発揮できるような教育環境の整備をさらに進めていきます。

また、山梨県の高齢化率は全国より高く、介護を在宅サービスの活用だけでは支え切れない世帯も増えてくると見込まれます。現役世代の方々の介護離職を防ぐためにも、必要となる介護施設の整備を行い、介護待機者ゼロ社会を実現できるよう取り組みます。

なお、令和3年度からは新たに「やまなし教育環境・介護基盤整備基金」を設置し、これらの施策を安定的に行うための財源を確保することとしています。



■ メディカル・デバイス・コリドー構想

山梨県は、甲府盆地と静岡県東部の医療産業集積地「ファルマ・バレー」を結ぶ一帯に医療機器関連産業を集積する「メディカル・デバイス・コリドー構想」の実現に向け、本県の基幹産業である機械電子産業の、医療機器関連分野への進出を支援しています。令和2年6月に設置した推進センターの活用や、医療機器生産金額が全国最大である静岡県の「ふじのくに先端医療総合特区」の本県への区域拡大などの連携強化により、参入企業は順調に増加しており、付加価値の高い産業への成長が期待されています。

■ 水素・燃料電池産業の集積・育成

燃料電池は、水素と酸素を反応させて電気を作り出す装置です。山梨県には、次世代クリーンエネルギーとして期待され全世界で市場が急拡大している、水素・燃料電池産業の研究・開発施設が高度に集積しています。このような地域特性が評価され、日本を代表する燃料電池の評価・解析・研究機関である技術研究組合FC-Cubicが、令和4年度にその拠点を東京・お台場から甲府市の米倉山に移転することとなりました。県は「次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ」を米倉山に整備し、研究成果の実用化や人材育成を一層進めていくこととしています。



■ 観光

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ソーシャルディスタンスが求められる中、観光についても、これまでの薄利多売型から、一人のお客さまにより多くの消費をしていただく高付加価値型への移行を進めています。「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」が提供する「安心・信頼」は重要な付加価値の一つです。

また、料理関係者などによる「やまなし美食コンソーシアム」を立ち上げ、本県の豊かな農産物や食材を生かした新たな食の文化の形成や、オリジナル美食ブランドの創造に向けた取り組みを始めました。さらに、歴史や芸術、文化などの観光資源についてもこれまで以上に活用を進めていくこととしています。



■ 農業

農業は本県の重要な産業の一つです。その競争力を強化するためスマート農業を推進するとともに、モモ「夢桃香」（写真左）やブドウ「甲斐ベリー7」（写真右）といった県オリジナル品種の育成や、全国に先駆けて取り組んでいる「4パーミル・イニシアチブ」*、農福連携などによるブランド力の強化を進めていきます。

また、高い評価を受けている「やまなしジビエ」やオリジナルブランド魚「富士の介」などの県産食材を総合的にプロデュースしながら、全国の消費者に紹介し、新たな需要を喚起していきます。



※世界の土壌の炭素量を年間0.4%（4パーミル）増加させれば、人間の経済活動によって放出される大気中の二酸化炭素を実質ゼロにできるという考えに基づいた国際的な取り組みのこと。

■ 二拠点居住の推進

新型コロナウイルス感染症の拡大によりテレワークが一般化する中で、個人や企業の意識にも変化が生じており、旅行や働き方の新しいスタイルであるワーケーションへの注目が集まるとともに、都市部から地方部へ新たに拠点を設ける動きが加速しています。

本県ではこれをチャンスと捉え、東京圏に隣接しながらも豊かな自然環境に恵まれており、近い将来にリニア中央新幹線が開業するなど他県にはない優位性を生かし「二拠点居住」*1を強力に推進することとしました。そのきっかけとも位置づけられるワーケーションを含め、テレワークに積極的に取り組んでいる大企業やスタートアップ企業*2を主なターゲットとして、戦略的な施策を迅速かつ柔軟に展開しています。

※1 都市部と地方部のどちらにも仕事・生活の拠点を持つライフスタイル

※2 社会に新しい価値をもたらす、短期間で急成長を目指す企業

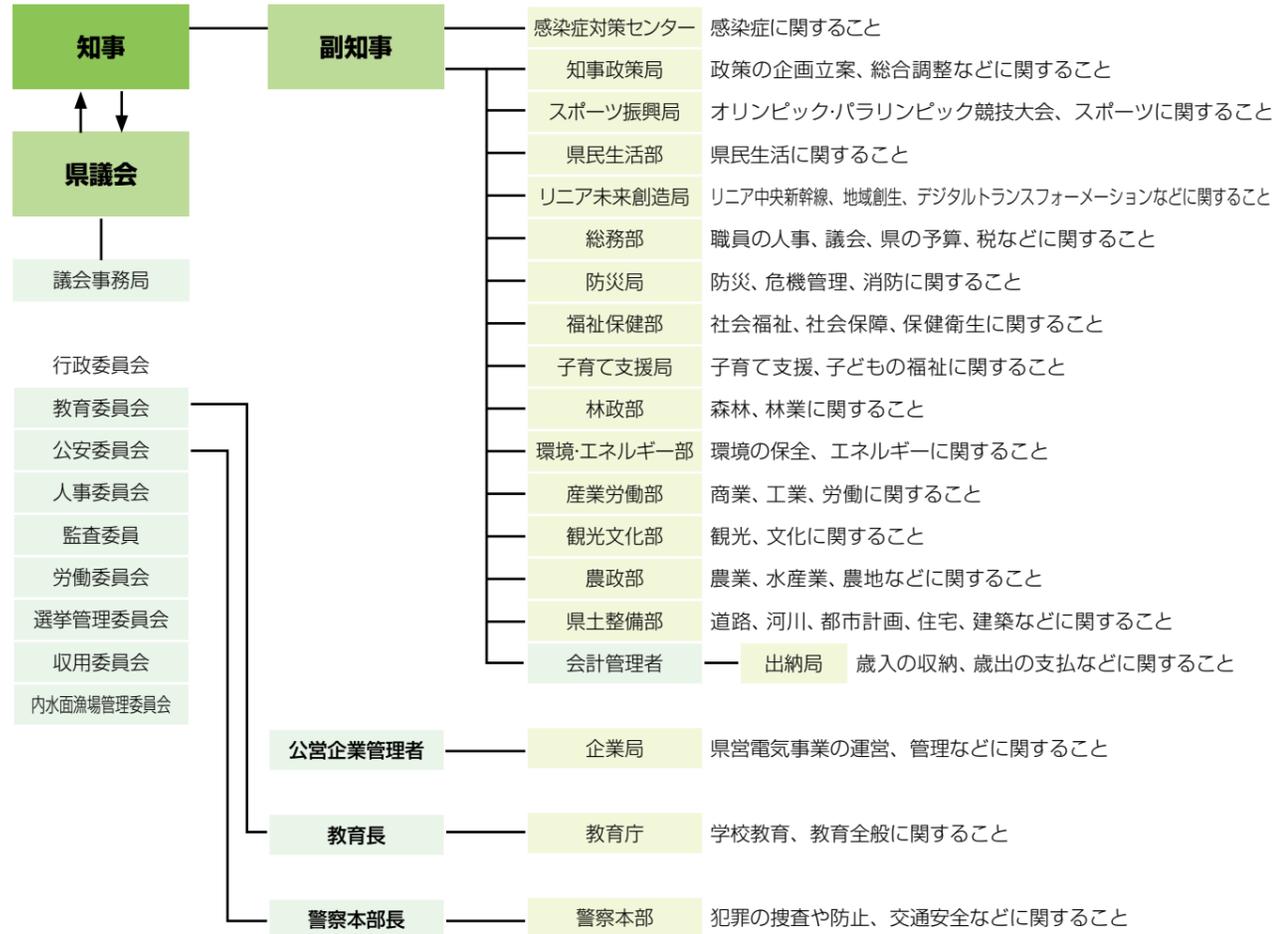
県の組織・予算・国際交流

組織

県の組織は、議決機関である県議会と、執行機関である知事及び行政委員会に大別されます。

県議会は、知事などから提出された予算案や条例案などの県の重要な方針を審議・議決し、知事及び各行政委員会は、事務を執行します。

知事の事務を処理するため、補助機関として副知事その他の職員が置かれ、事務を体系的・効率的に執行するための組織が設置されています。



予算

令和3年度の一般会計当初予算案は5,293億円です。

県では、県民福祉の増進と、県民生活の向上を図るため、各種施策を積極的に行っています。

商業や工業の振興などに使うお金(商工費)	909億円
県立学校の運営や整備などに使うお金(教育費)	900億円
県債の返済に使うお金(公債費)	739億円
道路の整備や河川の改修などに使うお金(土木費)	668億円
社会福祉や児童福祉などの事業に使うお金(民生費)	571億円
健康増進、疾病予防、環境保全などに使うお金(衛生費)	287億円
農業、林業、水産業の振興などに使うお金(農林水産業費)	232億円
犯罪や交通事故の防止などに使うお金(警察費)	225億円
その他(諸支出金、総務費を含む)	762億円

※このページは3月17日現在の情報を基に作成しています。

国際交流

山梨県では1960(昭和35)年に、全国に先駆けて、アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結を行いました。その後、ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州、中華人民共和国四川省、大韓民国忠清北道、フランス共和国ソーヌ・エ・ロアール県と姉妹・友好締結を行っています。

今後も「国際化を推進する地域づくり」に取り組む中で、活発な国際交流活動を展開します。

姉妹州

アメリカ合衆国 アイオワ州

1960(昭和35)年3月14日締結

本県が昭和34年の台風により甚大な被害を受けたとき、同州から見舞いとして農畜産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県での姉妹関係としては、わが国での草分けとなりました。

- 人口 315万人(2019年)
- 面積 14万5千km²
- 州都 デモイン市 人口21万人(2019年)
- 農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛
- 工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー



姉妹州

ブラジル連邦共和国 ミナス・ジェライス州

1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んである本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進の拠点となっています。

- 人口 2,129万人(2020年)
- 面積 58万7千km²
- 州都 ペロオリゾンテ市 人口252万人(2020年)
- 農業 牧畜、コーヒー、大豆、サトウキビ、トウモロコシ
- 工業 鉱業、製鉄、セメント、自動車



友好省

中華人民共和国 四川省

1985(昭和60)年6月18日締結

共に内陸部にあり、富士山、峨眉山等の名山を有するなど類似点が多く、民間レベルで活発に交流活動が行われていたことが契機となり、友好県省の締結を行いました。省都である成都市は、中国西南部地域の商業貿易・金融・化学技術の中心地でもあり、西部大開発の中心拠点都市として発展しています。

- 人口 8,375万人(2019年)
- 面積 48万6千km²
- 省都 成都市 人口1,658万人(2020年)
- 農業 水稻、菜種、生糸、馬鈴しょ、養豚、茶、野菜
- 工業 飲料、農産物加工、医薬品、IT、自動車



姉妹道

大韓民国 忠清北道

1992(平成4)年3月27日締結

ライオンズクラブやロータリークラブなどの民間交流がきっかけとなり、甲府商工会議所と清州商工会議所の姉妹締結を経て、両県道の姉妹締結に至りました。本県と同じく盆地で形成され、清州国際空港や高速鉄道、工業団地などのインフラ整備により、活気ある経済活動が展開されています。

- 人口 160万人(2021年)
- 面積 7千4百km²
- 道都 清州市 人口85万人(2021年)
- 農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、リンゴ
- 工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学



姉妹県

フランス共和国 ソーヌ・エ・ロアール県

2000(平成12)年4月7日締結

フランスを代表するワインの産地であるブルゴーニュ地方南部に位置し、ソーヌ川とロアール川がゆったりと流れ、なだらかに連なる丘と豊かな田園風景が印象的です。

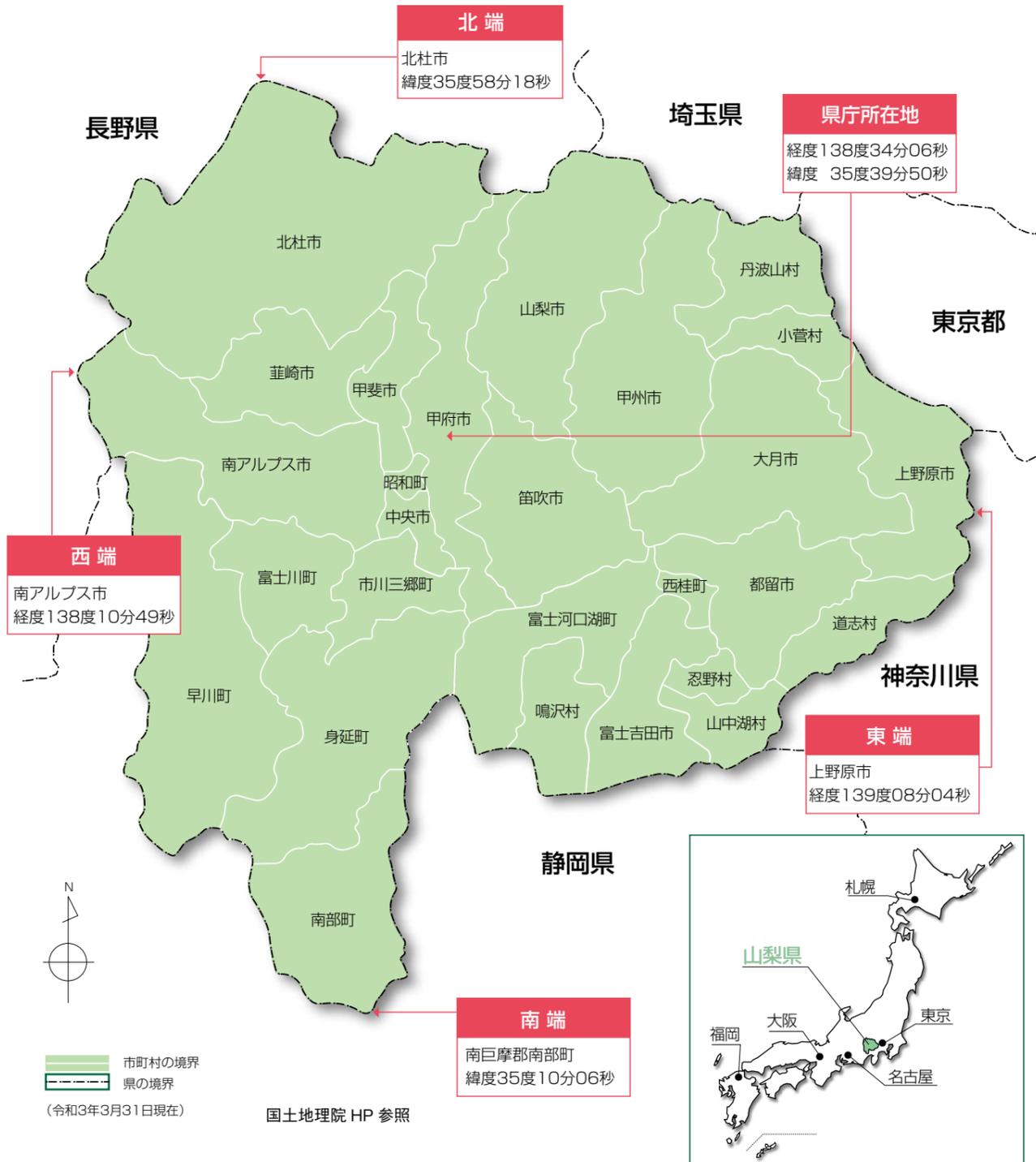
- 人口 55万人(2017年)
- 面積 8千6百km²
- 県都 マコン市 人口3万4千人(2017年)
- 農業 ワイン、シャロレー牛、羊、プレス地鶏、チーズ
- 工業 金属、機械、食品加工



面積・人口・市町村

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積は日本の総面積377,976.41km²（令和2年10月1日現在）の約100分の1に当たり、県土の約78%を森林が占めています。

総面積 *4,465.27km² 全国 第32位（令和2年10月1日現在）



総人口 806,210人（令和2年10月1日現在）

市町村別人口・世帯数

山梨県の市町村数は、27（13市8町6村）です。

市町村名	面積 (km ²)	人口			世帯数 (世帯)	わがまちの自慢
		総数 (人)	男 (人)	女 (人)		
県合計	*4,465.27	806,210	395,176	411,034	341,954	
市部計	*2,816.42	688,400	336,702	351,698	293,315	
郡部計	*1,648.85	117,810	58,474	59,336	48,639	
甲府市	212.47	187,478	91,684	95,794	87,261	県庁所在地。地場産業の水晶研磨などの宝飾産業は世界的に高い評価を誇る。
富士吉田市	*121.74	46,762	22,792	23,970	18,755	富士山信仰が息づく織物が盛んなまち。名物は硬さが自慢の吉田のうどん。
都留市	161.63	30,391	14,662	15,729	13,719	リニアモーターカー実験線の拠点。湧水で育てる水かけ菜が特産品。
山梨市	289.80	33,060	15,819	17,241	13,040	新日本三大夜景・笛吹川フルーツ公園のほか、豊かな自然、農村景観が魅力。
大月市	280.25	22,576	10,980	11,596	9,510	大月市秀麗富嶽十二景を選定し、富士山が美しく見える場所や山が多く存在。
韮崎市	143.69	29,034	14,507	14,527	11,882	サッカーのまち、甲斐の武田家発祥の地「武田の里」として知られる。
南アルプス市	264.14	69,615	34,273	35,342	26,615	市の名前になった南アルプス山麓に位置し、スモモとサクラソバ栽培が盛ん。
北杜市	602.48	43,459	21,247	22,212	19,041	ハケ岳などの山々が魅力。ミネラルウォーターの生産量、日照時間が日本一。
甲斐市	71.95	75,480	37,161	38,319	31,770	やはたもや甲斐のぎゅぎゅっとねぎなど、地元のブランド野菜が特産品。
笛吹市	201.92	67,607	32,779	34,828	27,493	モモ・ブドウの栽培面積、収穫・出荷量日本一。モモの花が満開の春は絶景。
上野原市	170.57	22,671	11,373	11,298	9,669	県の最東部。宿場町の面影や、与謝野晶子の愛した桂川の風景などが魅力。
甲州市	264.11	29,189	14,025	15,164	11,252	日本ワイン発祥の地として日本遺産に認定。歴史的な文化財を多く有する。
中央市	31.69	31,078	15,400	15,678	13,308	県の中央部に位置する。トマトなどの栽培が盛んで都市機能も充実。
西八代郡	75.18	14,551	7,017	7,534	5,881	
市川三郷町	75.18	14,551	7,017	7,534	5,881	大塚にんじん、和紙、花火、印章などの特産品や文化など魅力の多いまち。
南巨摩郡	a)948.82	32,809	15,989	16,820	13,802	
早川町	369.96	959	491	468	547	大自然に恵まれたまち。地場産業では七百有余年の歴史をもつ雨畑硯が有名。
身延町	a)301.98	10,611	5,220	5,391	4,689	日蓮宗の総本山・久遠寺などで知られる。あけぼの大豆と西嶋和紙が特産。
南部町	200.87	7,166	3,520	3,646	2,890	県の最南端に位置する。温暖な気候を生かして栽培される南部茶が特産品。
富士川町	112.00	14,073	6,758	7,315	5,676	高下地区では「ダイヤモンド富士」が拝める。ゆずや郷土料理みみが有名。
中巨摩郡	9.08	20,776	10,461	10,315	9,013	
昭和町	9.08	20,776	10,461	10,315	9,013	甲府昭和インター開設により区画整備が推進され、住宅地や商業地が整う。
南都留郡	*a)420.99	48,480	24,392	24,088	19,335	
道志村	79.68	1,585	797	788	592	クレソンの産地として知られ、日本有数のキャンプ場が多い村。
西桂町	15.22	4,045	1,954	2,091	1,494	三ツ峠は高山植物の宝庫。登山やロッククライミングを楽しめる場所が多い。
忍野村	25.05	9,275	5,177	4,098	3,695	世界文化遺産・富士山の構成資産である忍野八海は、国内外の観光客に人気。
山中湖村	53.05	5,151	2,557	2,594	1,968	東京2020オリンピックのロードレース競技のコースに選ばれている。
鳴沢村	*89.58	2,917	1,430	1,487	1,100	富士山の風土で育てる高原野菜や、溶岩が残した鳴沢氷穴・溶岩樹型が有名。
富士河口湖町	a)158.40	25,507	12,477	13,030	10,486	富士五湖のうち4湖を有する日本屈指の景勝地。温泉郷としても有名。
北都留郡	154.08	1,194	615	579	608	
小菅村	52.78	682	348	334	325	東京都と隣接し、多摩川の源流地として流域都市との交流も盛ん。
丹波山村	101.30	512	267	245	283	自然豊かな山村。シカ肉などのジビエが特産として注目を集めている。

■人口・世帯数は、令和2年山梨県常住人口調査（令和2年10月1日現在）によります。

■面積は、国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」によります。

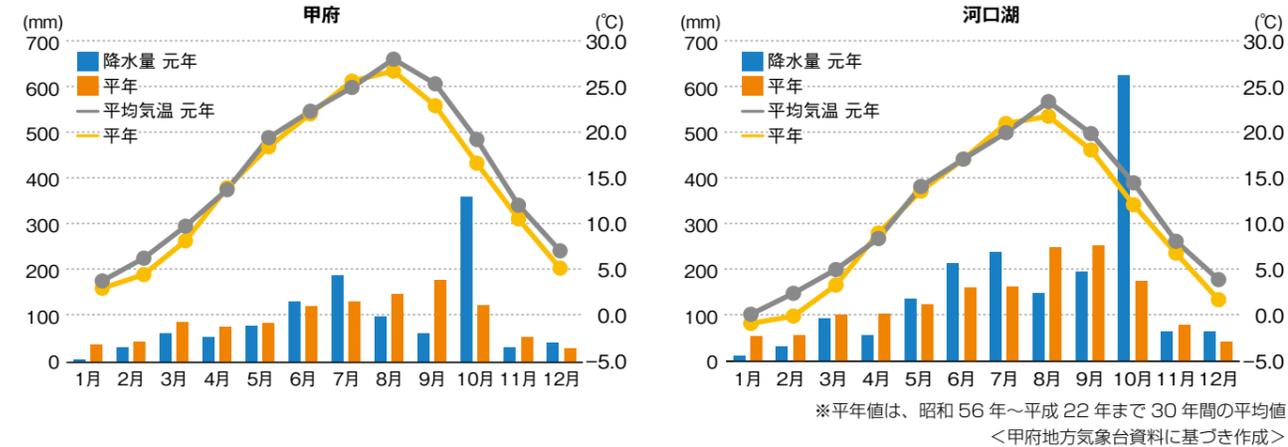
*印は境界未定のため便宜上の概算数値である参考値を記載しています。

a)について、本栖湖(4.70km²)は、水面が境界未定のため、南巨摩郡身延町と南都留郡富士河口湖町の面積及び両郡の合計には含まれません。ただし、県合計、郡部計には含まれます。四捨五入の関係で、総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。

Data File データで知るやまなし

気候

月別平均気温と降水量(令和元年と平年)



全国から見た山梨の気象

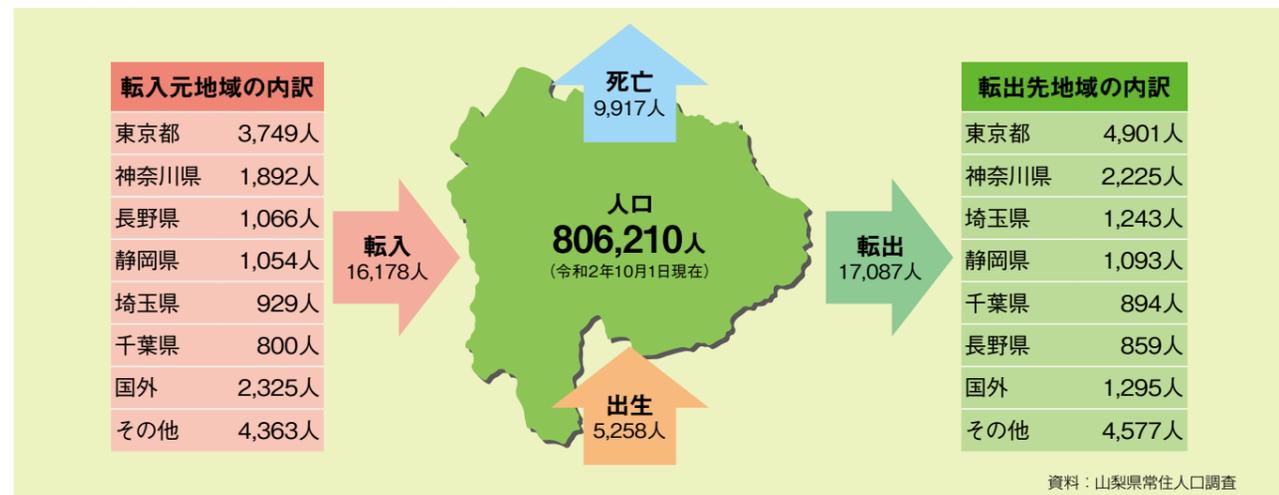
項目	比較年度	単位	本県		全国最高値		全国最低値	
			指標値	順位				
日照時間(年間)	元年度	時間	2,216.1	1	山梨県	2,216.1	沖縄県	1,665.6
降水量(年間)	元年度	mm	1,168.0	40	宮崎県	3,045.5	北海道	814.0
快晴日数(年間)*1	30年度	日	38	9	宮崎県	67	沖縄県	5
降水日数(年間)*2	元年度	日	95	40	福井県	172	岡山県	78
雪日数(年間)*3	30年度	日	6	41	北海道	131	沖縄県	0
年平均気温	元年度	℃	15.9	30	沖縄県	23.9	北海道	9.8
最高気温(日最高気温の月平均の最高値)	元年度	℃	33.8	4	京都府	34.3	北海道	26.5
最低気温(日最低気温の月平均の最低値)	元年度	℃	-2.3	8	北海道	-5.9	沖縄県	15.8
年平均相対湿度	元年度	%	62	46	富山県	78	広島県	61

※1「快晴日数」は、日平均雲量が1.5未満の日数
 ※2「降水日数」は、日降水量が1.0mm以上の日数
 ※3「雪日数(年間)」は、平成29年8月から平成30年7月までの日数

資料：統計でみる都道府県のすがた 2020、2021 (総務省統計局)

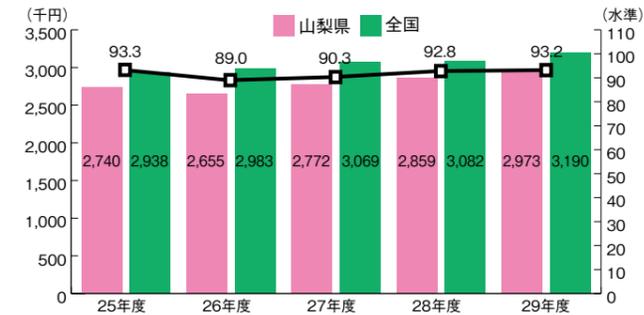
人口動態

人口動態(令和元年10月1日～令和2年9月末)



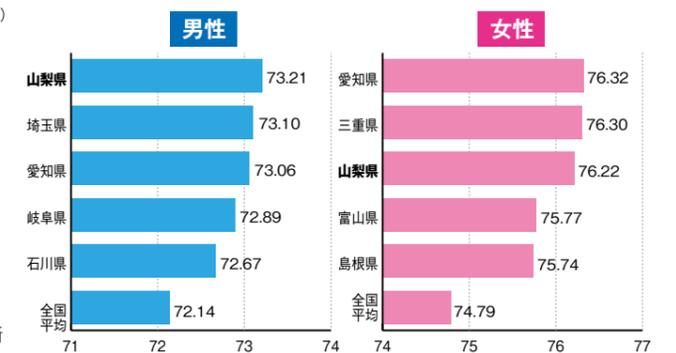
県民生活

1人あたり県(国)民所得と全国との水準の推移

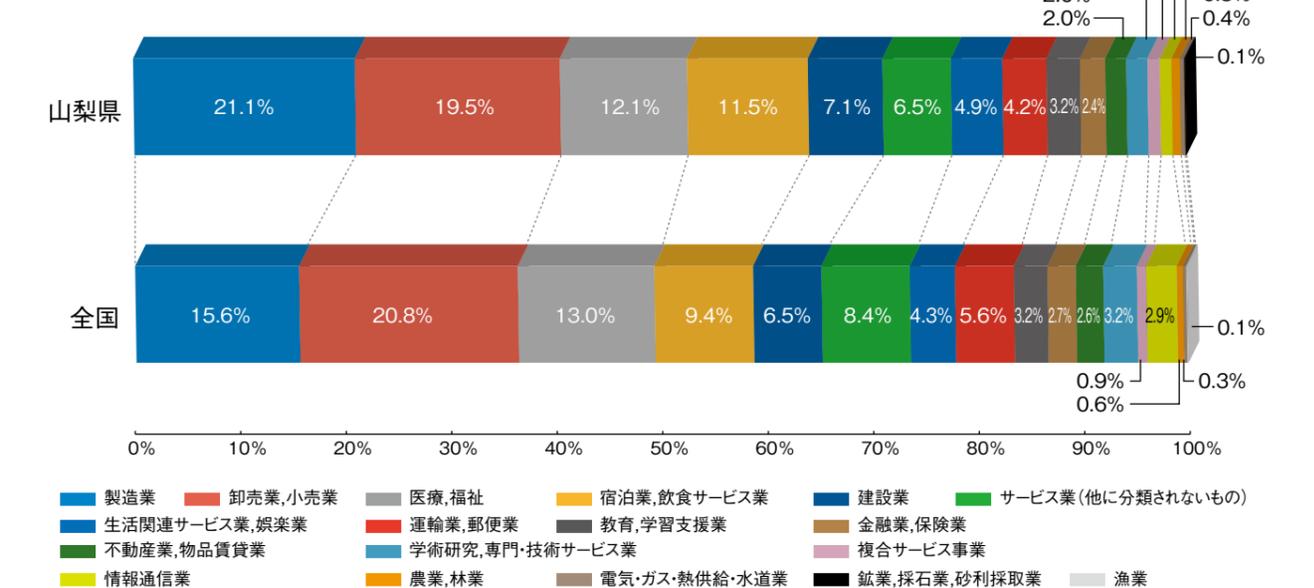


注) 1人あたり県民所得は、「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものである。したがって個人の給与や実収入額などとの比較はできない。折れ線グラフは1人あたり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移である。

健康寿命(平成28年)



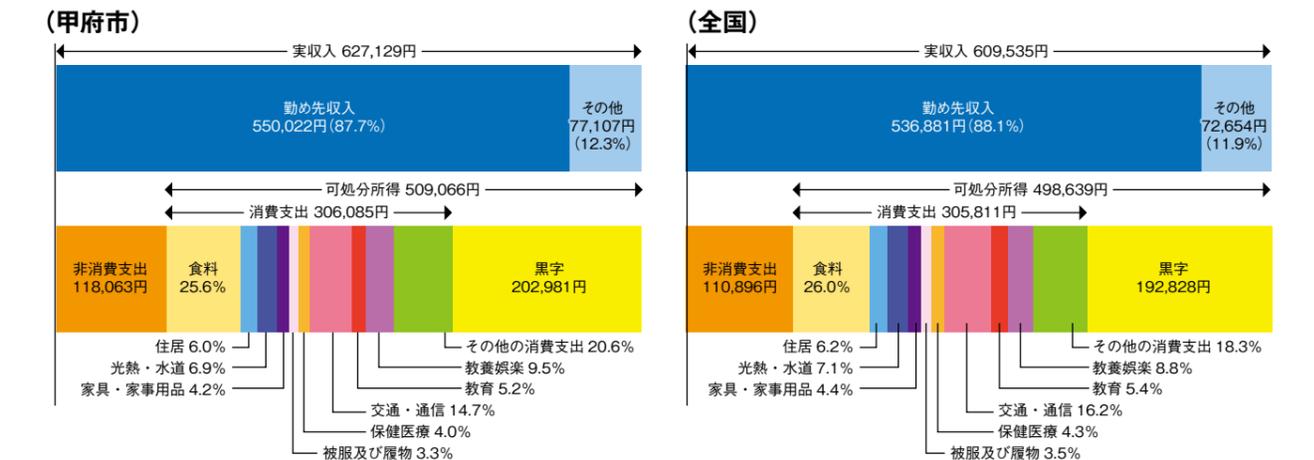
産業別従業者数構成比(平成28年)



※構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：平成28年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支(令和2年)



魅力や意外な事実を紹介!

統計でみる 山梨県の全国トップ3

標高



第1位 3,776m(富士山)
第2位 3,193m(北岳)
第3位 3,190m(間ノ岳)

国土地理院ホームページ

日照時間



令和元年度
第1位 2,216.1時間(年間)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

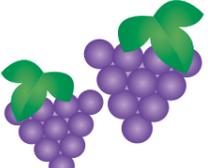
森林面積割合
(対総面積)



平成26年度
第3位 77.8%

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

ブドウ生産量



令和2年
第1位 35,000t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

モモ生産量



令和2年
第1位 30,400t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

スモモ生産量



令和2年
第1位 5,320t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

貴金属・宝石製装身具(ジュエリー)製品製造事業所数



令和元年
第1位 94事業所

2019工業統計調査(経済産業省)

数値制御ロボット出荷額



平成30年
第1位 2,791億円

2019工業統計調査(経済産業省)

半導体・IC測定器出荷額



平成30年
第2位 509億円

2019工業統計調査(経済産業省)

ワイナリー数



平成30年度
第1位 85事業所

国内製造ワインの概況(国税庁)

日本ワイン生産量



平成30年度
第1位 5,189kℓ

果実酒製造業者実態調査(国税庁)

ミネラルウォーター出荷額



平成30年
第1位 717億円

2019工業統計調査(経済産業省)

健康寿命



平成28年
第1位 73.21年(男性)
第3位 76.22年(女性)

厚生科学審議会
第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会公表資料

高齢就業者割合
(65歳以上)
(対65歳以上人口)



平成27年度
第2位 27.0%

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

多目的運動広場数
(公共)



平成30年度
第3位 166.5施設(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

ブドウ支出金額



平成29年~令和元年平均
第1位 7,659円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

アサリ支出金額



平成29年~令和元年平均
第2位 1,055円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

マグロ支出金額



平成29年~令和元年平均
第2位 9,040円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

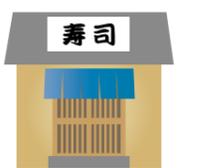
1日の食事時間



平成28年
第1位 1時間45分

平成28年 社会生活基本調査結果報告書(統計調査課)

すし店数



平成26年
第1位 0.3事業所(人口千人当たり)

平成26年経済センサス基礎調査(総務省)

保健師数



平成30年度
第3位 76.5人(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

消防水利数



令和元年度
第1位 3,850.3所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

ピアノ・電子ピアノ所有数量
(二人以上の世帯)



平成26年度
第1位 446台(千世帯当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

書斎・学習用机・椅子支出金額



平成29年~令和元年平均
第1位 1,722円(1世帯当たり年間)

家計調査(総務省)

コンビニエンスストア数



平成26年度
第2位 33.3所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

図書館数



平成30年度
第1位 64.9館(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

青少年教育施設数



平成30年度
第3位 17.1所(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2021(総務省統計局)

History 山梨の近現代 おもなできごと



明治10年落成当時の山梨県庁



新笹子トンネル開通



アイオワ州とのメッセージ交換の様子



山梨近代人物館（県庁別館内）の展示室

明治

- 元年（1868） 官軍甲府入城、甲斐府を置く
- 2年（1869） 甲斐府を廃し甲府県とする
- 4年（1871） 甲府県を山梨県に改める
- 5年（1872） 大小切騒動が起こる
- 6年（1873） 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる（翌年県令となる）
- 10年（1877） 山梨県庁落成。第十国立銀行設立
- 13年（1880） 明治天皇巡幸
- 36年（1903） 中央線甲府駅まで開通
- 44年（1911） 御料林を山梨県へ御下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通

大正

- 元年（1912） 県恩賜県有財産管理規則制定
- 9年（1920） 恩賜記念の謝恩碑が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3,453人

昭和

- 3年（1928） 富士身延鉄道全線開通。県議会議事堂完成
- 5年（1930） 県庁新庁舎（現在の別館）完成
- 6年（1931） 中央線甲府～新宿間電化
- 7年（1932） 富士山測候所開設
- 20年（1945） 甲府空襲、全市の74%が焦土と化す
- 25年（1950） 「山梨県の歌」決まる
- 33年（1958） 国道20号に新笹子トンネル開通
- 35年（1960） アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結
- 39年（1964） 富士山有料道路（スバルライン）開通
- 44年（1969） 中央自動車道富士吉田線開通
- 45年（1970） 第1回信玄公祭り開催
- 53年（1978） 県立美術館開館
- 57年（1982） 中央自動車道全線開通
- 61年（1986） かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催

平成

- 元年（1989） リニア新実験線建設地が山梨に決定
- 8年（1996） 地方病の流行終息宣言
- 10年（1998） 雁坂トンネル開通
- 14年（2002） 中部横断自動車道白根IC～双葉JCT開通
- 15年（2003） 「平成の大合併」県内第1号として、新・南部町誕生
- 17年（2005） 山梨県立大学開学
- 25年（2013） 「富士山」世界遺産登録
- 26年（2014） 豪雪災害の発生
- 27年（2015） 山梨近代人物館開館

令和

- 元年（2019） 山梨「ワイン県」宣言
- 2年（2020） 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行



恩賜記念の謝恩碑



美術館の一般公開に訪れた県民たち



「ワイン県」宣言を行った長崎知事

Forerunner 先人

明治時代から戦前までの間、山梨県の発展に貢献した人物、国内外で活躍した山梨ゆかりの人物



山梨中銀金融資料館蔵

わかおいっぺい
若尾逸平
(1820-1913)

南アルプス市生まれ。甲州財閥の中心人物。天秤棒から身を起こし一代で東京の電力や市電を支配するほどの財を成す。第十国立銀行（山梨中央銀行の前身）の取締役や初代甲府市長、県内初の貴族院議員となり活躍した。



あめみやけいじろう
雨宮敬次郎
(1846-1911)

甲州市生まれ。甲州財閥の一人。明治の文明開化の中で常に時代の先を読み、鉄道や製鉄業などの経営に手腕を振るい、甲武鉄道（現・JR中央線の一部）の取締役となる。また、国の発展のために社会的事業にも取り組んだ。



東武博物館提供

ねづかいちろう
根津嘉一郎
(1860-1940)

山梨市生まれ。甲州財閥の一人。東武鉄道など全国の鉄道会社経営に関わり「鉄道王」と呼ばれた。文化振興にも大きく貢献し、山梨県内の全小学校にピアノを寄贈。「根津ピアノ」の愛称で、今も親しまれている。



阪急電鉄株式会社提供

こばやしいちそう
小林一三
(1873-1957)

韮崎市生まれ。阪急グループ創設者で、鉄道を拠点とした都市開発モデルを生み出した。阪急電鉄をはじめ、日本初のターミナル・デパートや東宝映画、宝塚歌劇団など数々の事業を立ち上げた。



個人蔵

はやかわのりつぐ
早川徳次
(1881-1942)

笛吹市生まれ。ロンドンで地下鉄事業を学び、東洋初となる地下鉄の“生みの親”となる。生涯を懸けて挑んだ地下鉄は発展を続け、首都の大動脈・東京メトロとして、今も多くの人々を運んでいる。



石橋湛山記念財団蔵

いしばしたんざん
石橋湛山
(1884-1973)

東京都生まれ。幼少期から高校時代を山梨県で過ごした。戦後、衆議院議員となり第一次吉田内閣で大蔵大臣、第一次鳩山内閣では通商産業大臣を務める。1956（昭和31）年には第55代内閣総理大臣に就任した。



山梨中銀金融資料館蔵

ふじむらしろう
藤村紫朗
(1845-1909)

熊本県生まれ。14年間、山梨県の県令（県知事）として、県営勸業製糸場建設、葡萄・葡萄酒生産の振興、甲州街道の改修など殖産興業政策を推し進めた。教育にも力を注ぎ、擬洋風建築の校舎は「藤村式」と呼ばれている。



個人蔵

ないとうたちゅう
内藤多伸
(1886-1970)

南アルプス市生まれ。建築構造技術者・学者。東京タワー、大阪通天閣、名古屋テレビ塔など、多くの塔を設計し、「耐震構造の父」「塔博士」と呼ばれた。山梨県庁本館や県民会館の設計も手掛けた。



甲州市提供

たかのまさなり
高野正誠 (左) (1852-1923)
つちやりゅうけん
土屋龍憲 (右) (1859-1940)

甲州市生まれ。国産ワインの礎を築いた。日本初のワイン醸造会社「大日本山梨葡萄酒会社」が設立された年、フランスに留学し、本場の葡萄栽培法・葡萄酒醸造法を学び、帰国後、普及に努めた。



写真提供：北州市浅川伯教・巧兄弟資料館の浅川文彦

あさかわ たくみ
浅川 巧
(1891-1931)

北州市生まれ。日本と朝鮮の架け橋となった林業技師。朝鮮半島に渡り、伐採により荒廃した山野の緑化に取り組みながら、朝鮮の工芸品の研究や保存にも尽力するなど、朝鮮文化をこよなく愛した。

産業 Industry

農業

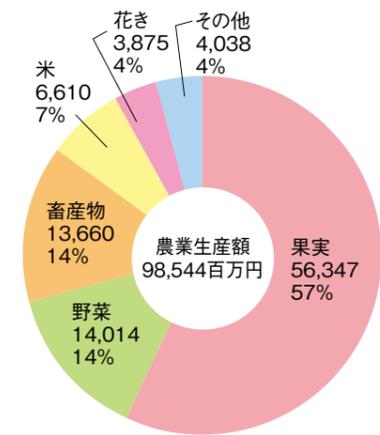
■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県の農業は、大消費地の東京圏に近い有利な立地条件や、変化に富んだ自然を生かしながら、農業者のためぬ努力と高度な生産技術の確立などにより、果樹、野菜、畜産、水稲、花きなどの特色ある産地を形成しています。

中でも果樹は、農業生産額の約6割を占め、ブドウ、モモ、スモモは、全国一の生産量を誇っています。

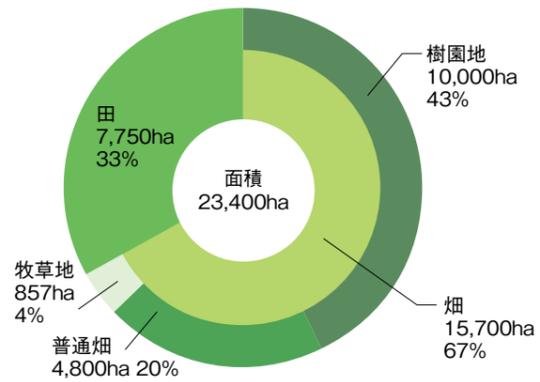
さらに、甲州牛や甲州富士桜ポークなどの食肉や、日本で初めてキングサーモンとニジマスを交配させて誕生した「富士の介」などの農畜水産物のブランド化を推進しています。また、全国に先駆けて参加している地球温暖化の抑制につながる「4パーミル・イニシアチブ」を積極的に展開するなど、本県農畜水産物の高付加価値化に取り組んでいます。

■農業生産額(令和元年)(単位:百万円)



資料: 令和元年農業及び水産業生産額実績(山梨県農政部)

■耕地面積(令和2年7月15日現在)



資料: 耕地及び作付面積統計(農林水産省)
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない。)

■やまなし農産物の旬カレンダー

品目	主要品目	主な生産地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
果樹	ブドウ	デラウェア、巨峰、ピオーネ、シャインマスカット、甲州、マスカット・ベリーAほか			ハウス栽培			露地栽培						
	モモ	日川白鳳、夢みずき、白鳳、浅間白桃、なつっこ、川中島白桃ほか		ハウス栽培		露地栽培								
	スモモ	大石早生季、ソルダム、サマーエンジェル、貴陽、太陽ほか	中北地域、峡東地域ほか		ハウス栽培		露地栽培							
	サクランボ	高砂、佐藤錦、紅秀峰ほか	中北地域、峡東地域ほか		ハウス栽培	雨よけ栽培								
	カキ	松本早生富有、富有ほか	中北地域、峡東地域ほか								露地栽培			
	干し柿	大和百目、甲州百目ほか	中北地域、峡東地域ほか											
野菜	キャベツ	早どり錦秋、藍宝ほか					露地栽培							
	スイートコーン	ゴールドラッシュ、きみひめ、甘々娘、恵味ゴールドほか			ハウス栽培	トンネル栽培	露地栽培							
	トマト	桃太郎はるか、麗夏ほか	中北地域ほか		ハウス栽培		雨よけ栽培				ハウス栽培			
	キュウリ	ハイグリーン、ゆうみ、Vアーチほか	中北地域、峡東地域ほか		ハウス栽培		露地栽培			ハウス栽培				ハウス栽培
	ナス	とげなし千両二号、筑陽ほか	中北地域、峡東地域ほか				露地栽培							
地域特産野菜	水かけ菜	在来種											露地栽培	
	浅尾だいごん	耐病総太りほか											露地栽培	
	やはたいも	静岡早生、土垂ほか											露地栽培(貯蔵)	
	大塚にんじん	国分鮮紅大長											露地栽培	
	あけぼの大豆(枝豆)	在来種											露地栽培	
クレソン	在来種	富士吉田市・道志村					露地栽培							

※収穫時期は年によって前後することがあります。



「未来に繋ぐ」 撮影場所: 北杜市
(第14回やまなし農村風景写真コンクール 山梨県知事賞作品)



「子供達とブドウ狩り」 撮影場所: 南アルプス市
(第14回やまなし農村風景写真コンクール 入選作品)

■日本一の生産量を誇る「やまなしのくだもの」



■ブドウ生産量(令和2年)



■モモ生産量(令和2年)



■スモモ生産量(令和2年)



参考資料: 「農林水産省 作物統計調査」



日本一の生産量を誇る山梨自慢のモモ畑



軒先いっぱいにかきを吊るす風景は秋の風物詩

産業 Industry

観光

■問い合わせ先 観光文化政策課 TEL 055-223-1556

山梨県は、豊かな自然環境、先人たちが積み重ねてきた歴史や文化、四季の特徴が際立つ気候、風土の恵みである食といった、観光地として必要な要素を高いレベルで兼ね備えています。本県が魅力的な地として観光客から選ばれ、満足してもらえるよう、これらの地域資源を活用するとともに、これまで観光に活用されてこなかった地域資源を掘り起こし、磨きをかけ、光を当てる取り組みを進めています。また、観光客が訪れることで、地域社会が活性化し、観光事業者にとっても働く魅力が向上するよう、観光産業の高付加価値化を推進しています。



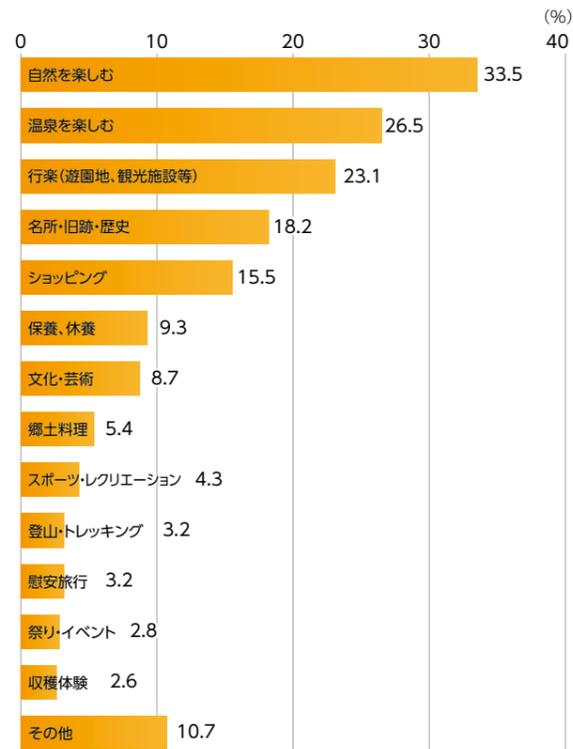
ワイン、食、温泉、グランピングなど、山梨ならではの観光コンテンツが充実

■観光客数・観光消費額の推移



資料：令和元年山梨県観光入込客統計調査

■観光目的



資料：令和元年山梨県観光入込客統計調査



明治時代に、山梨県で日本ワインの歴史が幕を開けて以来、現在もワイナリー数、生産量は日本一を誇ることから、令和元年8月に、山梨は「ワイン県」を宣言しました!!

林業

■問い合わせ先 森林環境総務課 TEL 055-223-1634

山梨県は、国際的な森林認証であるFSC森林管理認証を取得した県有林をはじめ、森林が県土の約78%を占める全国有数の森林県です。このうち、森林面積の約44%を占める人工林の多くが木材として利用可能な時期を迎えています。

このような中、東京2020オリンピック・パラリンピック関連施設や公共建築物に県産FSC認証材が使用されるとともに、県内に大型合板工場が稼働するなど県産材の需要は高まっています。このため、森林施業の生産性向上やスマート林業の普及、公共建築物等への積極的な県産材の利用など「伐って、使って、植える」という森林資源を循環利用する取り組みを進めています。

また、森林環境税などを活用し、荒廃した民有林の間伐を行うなど、水源の涵養や地球温暖化の防止、防災・減災など森林の持つ公益的機能が将来にわたって発揮されるための取り組みのほか、キノコ類やタケノコ、ワサビなど特産物の生産も行っています。



手入れが行き届いた人工林

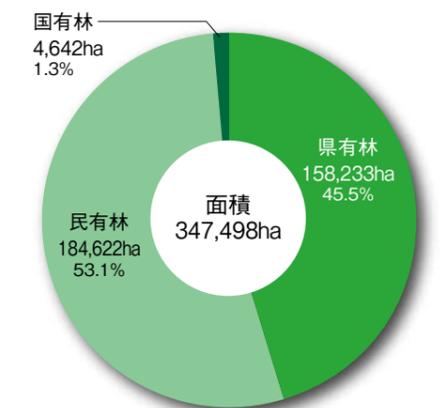


県産 FSC 認証材を使用した公共施設 (富士ウッドストリート)



山梨オリジナルの特産物 (山梨夏っこきのこ)

■所有形態別森林面積



資料：R2 山梨県林業統計書 (統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない)

■森林面積と森林比率

全国		山梨	
37,297千ha	総面積	446,527ha	
25,048千ha	森林面積	347,498ha	
67.2%	森林比率	77.8%	

資料：全国 国土地理院「北方領土面積を除いた全国都道府県市区町村別面積調」(R2.7現在)「2020森林・林業統計要覧」山梨「R2山梨県林業統計書」

■人工林面積と人工林比率

全国		山梨	
25,048千ha	森林面積	347,498ha	
10,204千ha	人工林面積	153,343ha	
40.7%	人工林比率	44.1%	

資料：全国「2020 森林・林業統計要覧」山梨「R2 山梨県林業統計書」

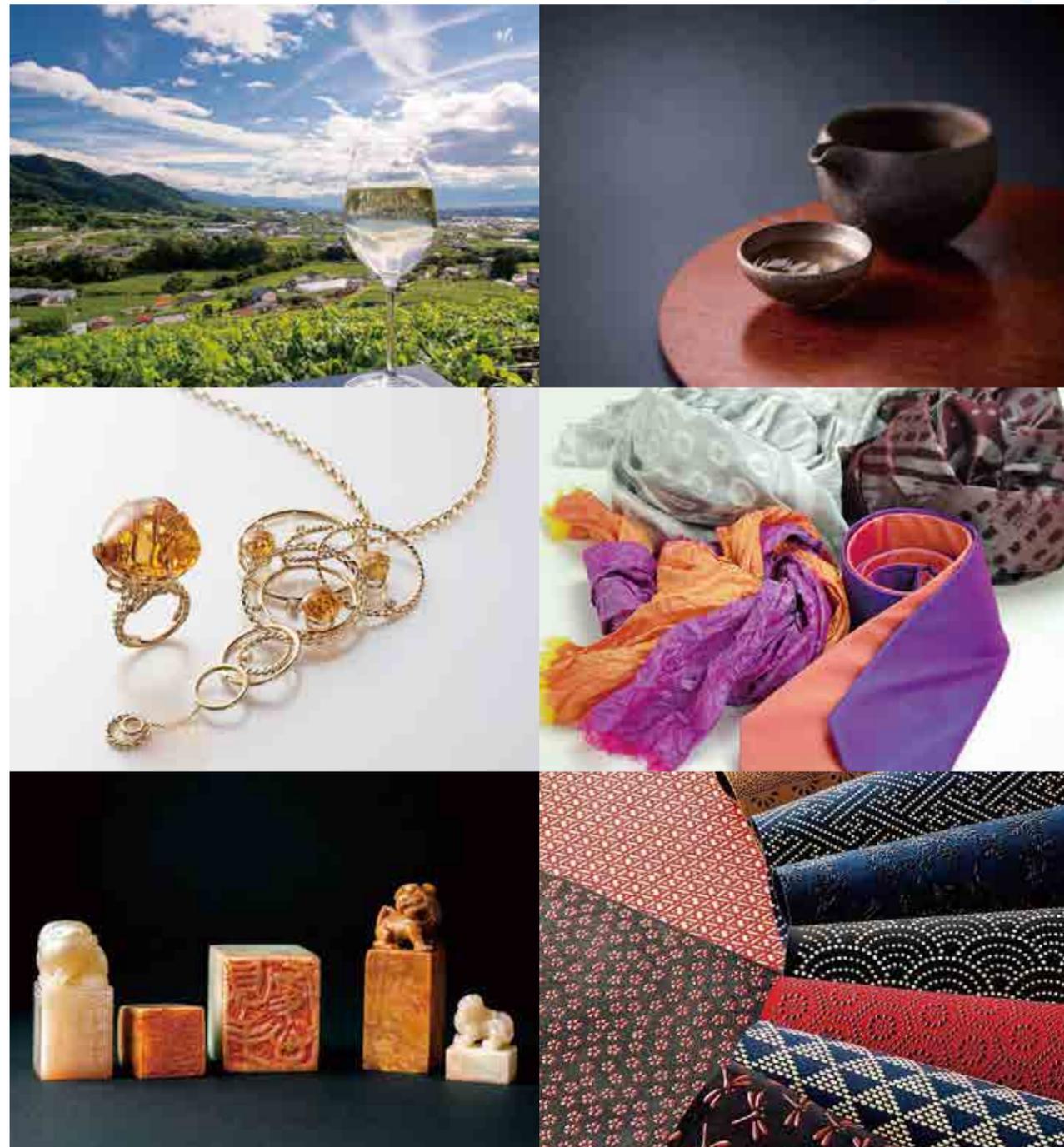
産業 Industry



■問い合わせ先 地場産業について 産業振興課 TEL055-223-8871

■問い合わせ先 産業振興について 成長産業推進課 TEL055-223-1565
P2Gシステムについて 企業局電気課 TEL055-223-5389
統計について 統計調査課 TEL055-223-1341

山梨県には、古くから続く伝統的な地場産業が数多くあります。中でも、世界から評価を受けているワイン、豊富で上質な水で仕込む日本酒、高度な技術から生まれる美しいジュエリー、千年以上の歴史を誇る産地で作られる織物、そして風土と暮らしの中で受け継がれてきた印章や印伝といった工芸品などが有名です。雄大な自然と歴史の中で、思いを込め、時間をかけて丁寧に仕上げるづくり手が、本県の地場産業を支えています。



また、エレクトロニクス（電子技術）産業やメカトロニクス（機械電子）産業などの立地も進み、活発な生産活動が展開されています。

最近では、山梨県経済の大きなけん引力となるよう、甲府盆地から静岡県東部を結ぶ一帯に医療機器関連産業を集積する「メディカル・デバイス・コリドー構想」を推進しています。そして、甲府市の米倉山などでは太陽光発電で、水素を製造、貯蔵、利用する「P2Gシステム」の実証実験をはじめとした、水素・燃料電池関連産業の振興に向けた取り組みも強化しています。



山梨大学医療機器産業技術人材養成講座



県内企業による医療機器等展示会への出展



山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター



水素・燃料電池関連産業の集積が進む米倉山

■日本ワイン生産量全国1位(平成30年度)

品目	生産量(kℓ)	全国シェア(%)	順位(位)
日本ワイン※	5,189	31.2	1

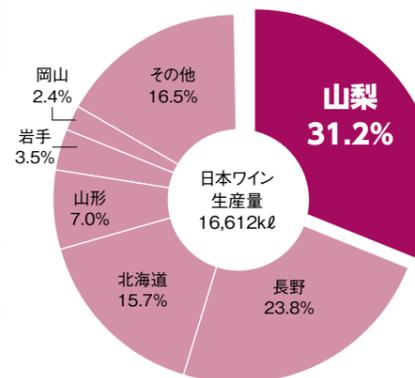
※日本国内で栽培されたブドウを100%使用して国内で醸造されたワイン
資料：果実酒製造業者実態調査

■出荷額全国1位の主な産業(平成30年)

品目	出荷額(億円)	全国シェア(%)	順位(位)
数値制御ロボット	2,719	74.8	1
ミネラルウォーター	717	38.8	1
巻上機	286	31.8	1

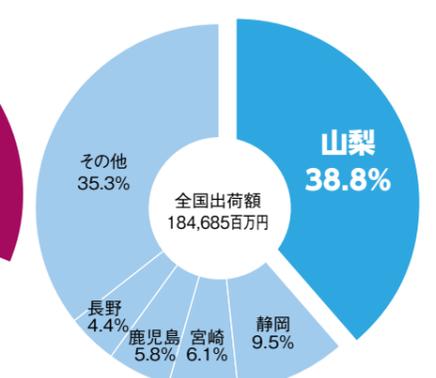
資料：工業統計調査

■日本ワイン生産量の全国シェア(平成30年度)



資料：2019 果実酒製造業者実態調査
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

■ミネラルウォーター出荷額の全国シェア(平成30年)



資料：2019 工業統計調査
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

World Heritage 世界遺産

世界遺産富士山 「信仰の対象と 芸術の源泉」

日本一の高さを誇る富士山。2013年6月22日、「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の名称のもと、世界文化遺産に登録されました。

富士山は、「信仰の対象」であるとともに、「芸術の源泉」として、日本人の自然観や日本文化に大きな影響を与えてきた歴史があります。

かつて富士山は、激しい噴火を繰り返す火の神として人々から畏れられていました。しかし、平安時代になり、噴火が沈静化してくると、富士山の中に入り修行する人が現れます。このような人々の信仰は一般民衆にも普及し、江戸時代になると富士講とよばれる信仰集団が爆発的に広まり、多くの人が富士山に登るようになります。また、葛飾北斎などの浮世絵のモチーフとして富士山が多用され、日本人の生活に溶け込んでいきます。人と自然が信仰と芸術を通して共生する姿は、富士山が持つ大きな特徴といえるでしょう。

このような富士山の歴史や文化にゆかりのある25の構成資産には、その山体だけでなく、周囲にある神社や風穴、溶岩樹型、湖沼などがあります。ユネスコ世界遺産委員会はこれらの価値を認め、未来に受け継ぐべき世界の宝として世界文化遺産の登録を決定したのです。



中ノ倉峠から望む富士山と本栖湖

構成資産分布図



信仰の対象



⑧北口本宮富士浅間神社

富士山信仰の聖地。富士講が富士登拝に出發すると、まずこの神社を参拝し、境内にある登山鳥居をくぐり富士山頂を目指しました。



⑨御師住宅(旧外川家住宅)
※⑩小佐野家住宅は非公開

1768年に建てられた御師の家。御師は、富士登拝に訪れる富士講を迎え入れ、食事や宿泊の世話をするとともに布教活動も行い、富士山信仰を支えていました。



⑪船津胎内樹型
※⑫吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません

937年の富士山噴火の際に流出した溶岩でできた世界的にも珍しい樹型の一つ。樹型の内部には、富士山の祭神「木花開耶姫命」が祭られています。

芸術の源泉



富士三十六景 凱風快晴
(葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

通称「赤富士」。凱風とは南風のことで、夏の朝、赤みを帯びた富士の山肌が日を受け、さらに赤く輝く現象が起こります。その一瞬を簡潔な構図と色彩で伸びやかに描いています。



富士三十六景 諸人登山
(葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

つえを使って登る者、疲れて腰を下ろす者、岩室で休む者など富士山頂付近の富士講が描かれています。信仰の山としての富士山を主題にしていることが感じ取れます。



富士三十六景 甲州三坂水面
(葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

甲府盆地と河口湖を結ぶ御坂峠からの景色を描いています。実際の富士山が夏の様子であるのに対し、河口湖面に映る逆さ富士には雪が積もっているところがユニークです。

日本遺産に認定されている 4つのストーリー

日本遺産とは、国内の各地域に点在する史跡や伝統芸能など、有形や無形の文化財をパッケージ化し、歴史的な魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。

山梨県では4つのストーリーが日本遺産として認定されています。



甲州市勝沼地域のフルーツライン付近から望むブドウ畑

—山梨県峡東地域—
山梨市 笛吹市 甲州市
葡萄畑が織りなす風景

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨織、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったと伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。



巨岩や奇石などを有し、希少な造形美を形成する昇仙峡

昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると大小の滝や巨岩、奇石を見ることができます。水がつくった芸術品とも言える渓谷美は、地域の人々により日本有数の景勝地として磨き上げられました。

また、産出された水晶と匠の技として伝承される加工技術は、日本一のジュエリー産業の基盤になりました。さらにその加工技術は人工水晶製造技術へとつながり、電子機器などに使用されるなど、現代に至る私たちの生活を支えています。

甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡
—水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ—
甲府市 甲斐市

数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅 —星降る中部高地の縄文世界—

山梨県
甲府市 韮崎市 南アルプス市
北杜市 笛吹市 甲州市
長野県
茅野市 富士見町 原村 諏訪市
岡谷市 下諏訪町 長和町 川上村



日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉱山があります。鉱山の森に足を踏み入ると、そこには縄文人が掘り出したキラキラ耀（かがや）く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきました。日本最古のブランド「黒曜石」は、最高級の矢じりの材料として日本の各地にもたらされました。

麓のムラで作られた、ヒトや森に生きる動物を描いた土器やヴィーナス土偶を見ると、縄文人の高い芸術性に驚かされ、黒曜石や山の幸に恵まれて繁栄した縄文人を身近に感じることができます。



旧宮崎葡萄酒醸造場施設（宮光園）



宮光園での醸造作業風景



大黒天印甲斐産葡萄酒と甲斐産エビ葡萄酒



甲州市内の和風建築のワイナリー

国産ブドウを原料とし、国内で醸造される日本ワイン。その140年にわたる歴史において、甲州市の勝沼地域では、地元のブドウ農家と共存繁栄を図ることで、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーが誕生しました。また、茨城県牛久市の牛久シャトーは、大規模な醸造体制を確立しました。

明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして、民間の力で成し遂げたのです。

日本のワイン文化の広がりに貢献した2つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなることでしょう。

日本ワイン140年史
—国産ブドウで醸造する和文化の結晶—
山梨県 甲州市 茨城県 牛久市



伝 てんづしまい
天津司舞
昭和51年5月4日指定
(甲府市小瀬町)

日本第一号の重要無形民俗文化財に指定されている、日本最古の人形芝居である。その年の豊作を願って舞う田楽芸能の一つ。9体の人形は小瀬町の天津司神社を出発し、下鍛冶屋町の諏訪神社の境内に張られた幕の中に入り、舞を奉納する。人形は等身大で、舞は水上での神々の姿を再現したものといわれる。現在は4月第一日曜日に開催されている。

画像提供:甲府市



画像提供:富士吉田市

伝 よしだ ひまつり
吉田の火祭

平成24年3月8日指定(富士吉田市上吉田)

吉田の火祭は北口本宮富士浅間神社とその摂社の諏訪神社の祭りで、江戸時代から富士山信仰の隆盛とともに賑わった祭りとして「甲斐国史」にも記載されている。7月1日の富士山のお山開きに対して、お山仕舞いのお祭りとして8月26日に行われる。巨大な富士山型の神輿が勇壮に渡御し、市内に並べられた大松明が燃やされる。

伝 かわぐち ちご まい
河口の稚児の舞
平成29年3月3日指定
(富士河口湖町河口)

河口浅間神社の毎年7月28日の太々神楽祭に奉納されている。神楽に奉仕するのは、氏子の中の7歳から12歳までの「おちいさん」と呼ばれる女の子。おちいさんは両親が健全なことが絶対条件で、舞を奉納する1週間前からは4足のを食べてはいけないなどの厳粛さがある。



画像提供:富士河口湖町



画像提供:上野原市

伝 むじょうの だいにんぶつ
無生野の大念仏

平成7年12月26日指定(上野原市秋山無生野)

大念仏は人々が一堂に集まって念仏を唱える行事。江戸時代までは各地に伝えられていたが、現在でも完全な形を残しているのは、県下では無生野だけとなっている。この地域では鎌倉時代末期、後醍醐天皇の王子である大塔宮護良親王らの悲運の伝説にちなんで悪霊退散を祈願したものが起源と語られている。

伝 重要無形
民俗文化財

国宝 **守**

山梨の文化財

長年にわたる人々の生活の中で創り出し、守り伝えられてきた宝物
important intangible cultural assets
and national treasure of Yamanashi

守

こざくらかわおどしよろい
小桜韋威鎧
かぶと おおそでつき
兜、大袖付

昭和27年11月22日指定
(甲州市塩山 菅田天神社所有)

平安時代の風格を今も伝えるこの鎧は、「楯無鎧」の名で知られ、御旗(甲州市塩山 雲峰寺蔵、県指定文化財)とともに武田家の重宝だったとされる。信玄の時代、鬼門鎮護のため菅田天神社に納められたが、武田氏が滅んだ際、敵の手に渡らないよう向嶽寺の大杉の根元に埋めたものを、徳川家康が掘り出し再び同社に納めたと伝えられる。



守

けんぼんちやくしよくだるます
絹本著色達磨図

昭和28年11月14日指定
(甲州市塩山 向嶽寺所有)

達磨が朱衣に身を包んで岩上に座禅する本図は、その生き生きとした描写や重厚な筆致から、優品としての評価が高い。着賛している蘭溪道隆は、鎌倉建長寺を開山した中国からの渡来僧で、東光寺や永岳寺を開山するなど、本県にも関係がある。13世紀頃の作である。



守

けんぼんちやくしよく
絹本著色
かけいさんすいず
夏景山水図

昭和30年6月22日指定
(身延町 久遠寺所有)

本来四季山水図の一つとして描かれたものと考えられるが、春景図は失われている。京都金地院に残る秋景・冬景図二幅とともに北宋の徽宗皇帝の作とも伝えられる。12世紀初めとも、13世紀初めの作ともいわれるが、足利義満の所蔵印が押されていることから、14世紀には既に日本に伝来していたことが分かる。北宋・南宋時代の山水図を代表する名品である。



守

だいぜんじほんどう
大善寺本堂
つけたり ずし
附 厨子

昭和30年6月22日指定
(甲州市勝沼町 大善寺)

鎌倉時代の密教系本堂の代表的建物で、東日本で最も優れた和様建築ともいわれている。内部の隅柱にある1286(弘安9)年の刻銘から、1270(文



永7)年の火災で焼失した後、鎌倉幕府の援助を受けて再建された、山梨県では最古の建物であることが判明している。

守

せいはいくじぶつでん
清白寺仏殿

昭和30年6月22日指定
(山梨市三ヶ所 清白寺)

この仏殿は、小規模な中世禅宗様仏殿の典型例として知られる。清白寺創建時の1333(正慶2)年の建築と伝えられてきたが、1917(大正6)年の解体修理の際に発見された墨書によって、1415(応永22)年であることが確認された。



と伝えられてきたが、1917(大正6)年の解体修理の際に発見された墨書によって、1415(応永22)年であることが確認された。

味 モモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。「白鳳」や「浅間白桃」などが代表的な品種で、7月の東京中央卸売市場では、本県産のモモが約80%を占めます。



浅間白桃

味 スモモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。「大石早生」や「太陽」、果肉が赤い「ソルダム」の他、スモモの常識を覆すほど大玉で高糖度の「貴陽」や、県オリジナル品種の「サマービュート」「サマーエンジェル」が注目されています。



県オリジナル品種・サマーエンジェル

貴陽

技 ジュエリー

山梨県は、宝石の加工と貴金属加工が一体となった産地であり、研磨宝飾製品では、国内屈指の出荷額を誇っています。さまざまなジュエリーから水晶貴石細工まで幅広い製品がそろっています。



Koo-fu(クーフー)コレクション

甲州水晶貴石細工

技 和紙

山梨県の和紙の歴史は古く、奈良時代末の宝亀4年(773)の記録には、全国の紙の産地として甲斐の名が記されています。市川三郷町の「市川大門手漉和紙」と身延町の「西島手漉和紙」は山梨県郷土伝統工芸品に指定されています。



味 ブドウ

栽培面積、生産量ともに日本一です。栽培の歴史は古く、山梨県では約1300年前から始まったといわれています。「巨峰」「シャインマスカット」「ピオーネ」「甲斐路」など、品種はとても豊富です。また「甲州」はワイン用としても有名な本県独自の品種です。



シャインマスカット

甲州

味 サクランボ

赤い宝石のように実る高級感漂う初夏の果物です。山梨県では、5月上旬から観光もぎ取りも楽しめます。「高砂」「佐藤錦」が代表的な品種で、山梨県が栽培の南限といわれています。県オリジナル品種として、「甲斐オウ果6(商標:甲斐ルビー)」があります。



甲斐オウ果6(商標:甲斐ルビー)

味 ブランド食肉

山紫水明の自然豊かな山梨県で、磨き抜かれた飼育技術により丹念に育てられた「甲州牛」や「甲州ワインビーフ」「甲州富士桜ポーク」「甲州地どり」などの甲州統一ブランド食肉に加え、捕獲したニホンジカを活用し、食肉の安全・安心を担保した「やまなしジビエ」などがあります。



甲州牛



やまなしジビエ(シカ肉)



甲州富士桜ポーク

味 富士の介

山梨県は、富士山をはじめとした山々からの良質な水資源を活用したニジマスなどの養殖業が盛んです。こうした中、県では、国内で初めてキングサーモンとニジマスを交配させた富士の介を開発しました。富士の介は、キングサーモンのおいしさとニジマスの育てやすさという特徴を併せ持った新しいブランド魚です。



味 ワイン



山梨県は日本のワイン醸造発祥の地であり、都道府県別ワイナリー数、「日本ワイン」(*)の生産量・出荷量とも日本一です。約90のワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しており、中でも、本県特産のブドウ「甲州」で造られる白ワインは、和食に合う味わいが特徴で、和食ブームの海外でも注目されています。

(※)日本国内で栽培されたブドウを100%使用して国内で醸造されたワイン

技 花き

山梨県では、洋ランやオリジナル花きなど気象条件や技術を生かした高品質な花が生産されています。12月に雪のような白い花を咲かせる「クリスマスエリカ」とともに、富士山のような円すい形の花や花色変化が特徴の「ピラミッドアジサイ」なども新たに注目されています。



クリスマスエリカ

ピラミッドアジサイ

技 印章

文久年間に水晶のてん刻から始まったといわれ、印章は全国有数の産地です。印材は、水晶、つげ、水牛などを使用し、機械彫り以外に手彫りによる印章も多く作られています。手彫りの印章は、「甲州手彫印章」として国の伝統的工芸品に指定されています。



技 印伝

江戸時代末期までに甲府城下を中心に生産が始められたとみられ、袋物として当時から庶民の間で親しまれていました。鹿革に独特の伝統技法を用いて漆加工したもので、「甲州印伝」として国の伝統的工芸品に指定されています。



技 硯

甲州雨畑硯は、材料の良さ、光沢の良さが世界的に有名な中国の高級品「端溪」に匹敵するとされ、「和端溪」と呼ばれています。墨ののりがよく、優雅な使い心地のため、書道愛好家にも人気が高いものとなっています。



山梨の逸品

美しい風土の中で伝統に育まれた品々。素朴さと気品の中にやまなしの個性が光ります。

Specialities of Yamanashi



おつけだんご

(大月市)

養蚕が盛んだった大月市の農家で食べられてきた料理。旬の野菜を煮た汁の中に、小麦粉の団子を入れたもの。みそやしょうゆ、塩などの味付けや、団子の形が家庭によって違い、おふくろの味として親しまれている。



吉田のうどん

(富士吉田市)

富士吉田市では織物業が盛んであったことから、男性が食事の支度をしてきた。そのため簡単に作れ、非常に腰があり歯ごたえがあるうどんが、よく作られるようになった。具にキャベツをふんだんに使うことも特徴で、富士吉田市を中心に50軒以上のうどん店がある。

小豆ほうとう

(中北地域、峡南地域)

まず小豆を甘く煮立て、さらにほうとうを入れて煮た小豆ほうとうは、地区行事や祝い事の折にも食べられてきた。北杜市須玉町若神子の三輪神社で毎年7月末に行われる祭りでは、小豆ほうとうが振る舞われることから「ほうとう祭り」とも呼ばれている。



せいだのたまじ

(上野原市)

たまじと呼ばれる小さなジャガイモをみそで甘辛く煮詰めた郷土料理。江戸時代の名代官・中井清太夫は、飢饉の際にジャガイモ栽培を広めて窮地を乗り切った。人々が、感謝を込めてジャガイモのことを「せいだ」と呼ぶようになったのが、名前の由来といわれている。



カツ丼

(県内全域)

山梨県で「カツ丼」を注文すると、ご飯の上にキャベツがのり、その上にとんかつがのった丼が出てくる。この上にたっぷりソース(ウスター)を掛けて食べる。とんかつの肉汁や、ソースがしみ込んだご飯も絶品とされている。県外で一般的な「卵でとじたカツ丼」は「煮カツ丼」と呼ばれ、別の料理である。



ほうとう

(県内全域)

「うまいもんだよ カボチャのほうとう」といわれ、誰もが知る山梨県の代表的な郷土食。武田信玄公が考案した陣中食であったといわれているが、文献上は江戸時代以降に多く登場する。峡南地域では「のし入れ」「のし込み」とも呼ばれている。



おざら

(中北地域、峡南地域)

おざら(おだら)は古くから伝わる郷土料理の一つで、ほうとうに使用するより細めの冷やした麺を温かいしょうゆベースのつゆにつけて食べるが一般的。のど越しがよく、夏場に食べる人が多い。



にんじんめし

(市川三郷町)

市川三郷町の大塚地区は「のっぴい」と呼ばれる土壌で、肥沃なうえに石がほとんどないため、1mもの長さに育ち、食物繊維を多く含み、栄養価が高い「大塚にんじん」を育てるのに適した地域。毎年12月に、みたまの湯で開催される収穫祭では、にんじんめしが振る舞われる。



みみ

(富士川町)

富士川町十谷の集落に伝えられている郷土料理。小麦粉を練って薄く延ばし、3cmの正方形に切り「箕」(農作業で使う道具)の形を作り、季節の野菜と一緒にみそで煮込む。昔、神様に奉納した「福箕」になぞらえて食べられるようになったといわれている。



馬刺し

(県内全域)

山梨県は主要街道である甲州街道が通り、また、富士山信仰で登山者の荷揚げ用が必要とされ、馬が身近であったことから、馬肉料理が盛んになったともいわれている。馬肉生産量全国5位、吉田のうどんにも馬肉が用いられている。



おぼく

(峡東地域、峡南地域、富士・東部地域)

米が作れない土地では、麦が主食であり、大麦の皮を剥いだ丸麦を一晩水に浸し、水をたっぷり入れて柔らかめに炊く。ジャガイモ、サツマイモ、大根、サトイモ、金時豆などを入れ、ねぎみそを付けて食す。漫画「美味しんぼ」80巻でも紹介されている。



富士まぶし

(富士河口湖町)

食からの観光まちづくりをテーマとして活動してきた「富士山麓 んめえ〜もん倶楽部」が開発した料理で、富士山の伏流水で育った鱒を、炊き込みご飯で食べ、薬味で食べ、だしをかけてお茶漬けで食べる3つの食べ方で楽しむことができる「ひつまぶし」を意識した料理。



かっぱめし

(富士河口湖町)

河口湖に伝わるかっぱ伝説にちなんで「富士河口湖名物開発委員会」が考案した料理。基本は、きゅうりの浅漬けに長芋(または大和芋)のすりおろしに調味料を混ぜたもので、これをご飯にのせ、刻みのりと胡麻をトッピングするが、その他はアレンジ自由。

山梨の郷土食

各地域で受け継がれる山梨の食文化

Local cuisine of Yamanashi

県立施設ガイド

Prefectural Facilities Guide

身障者用駐車場有り
 出入口平坦またはスロープ有り
 車いす対応エレベーター有り
 車いす用観覧席有り
 車いす用トイレ有り



県立美術館

1978年の開館以来「ミレーの美術館」として広く親しまれています。ミレーの代表作《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》のほか、バルビゾン派の作家の作品や、山梨ゆかりの作家の作品などを収蔵。年4回、展示替えごとにテーマを設けて展示しています。

甲府市貢川1-4-27 (芸術の森公園内)
TEL 055-228-3322
FAX 055-228-3324



県立文学館

樋口一葉、太宰治、芥川龍之介、飯田蛇笏、飯田龍太など山梨出身・ゆかりの文学者の原稿や愛用品を展示。特に芥川に関しては、全国でも有数のコレクションを誇り、「羅生門」をはじめ約5,000枚の下書き原稿を所蔵しています。

甲府市貢川1-5-35 (芸術の森公園内)
TEL 055-235-8080
FAX 055-226-9032



県立考古博物館

ここでしか見ることのできない重要文化財の縄文土器に出会える博物館。日本有数の美しい縄文土器は必見です。考古博物館のある風土記の丘・曾根丘陵公園内には国史跡の古墳などがあり、ARアプリを使えば、時空を超えて当時の姿を体感できます。

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882



※平屋建なのでエレベーターなし



県立博物館

子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、歴史と文化を学ぶ場、情報発信の場として平成17年に開館しました。「山梨の自然と人」をテーマに、山梨の豊かな自然と向き合ってきた人々の暮らしの歴史を、分かりやすく展示しています。

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631
FAX 055-261-2632



※平屋建なのでエレベーターなし



山梨ジュエリーミュージアム

山梨の宝飾産業の歴史や、職人たちの卓越した技術を紹介するとともに、その技術によって生み出される美しい宝飾品の数々を展示しています。土・日・祝日には職人による実演や、ジュエリー制作体験(有料)を行っています。

甲府市丸の内1-6-1
山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570
FAX 055-223-1572



ゆめソーラー館やまなし

環境学習や次世代エネルギーに関する情報提供の場として、地球温暖化をはじめとする環境問題や、太陽光発電など再生可能エネルギーについて分かりやすく紹介しています。

甲府市下向山町3443-1
TEL 055-269-6685



※平屋建なのでエレベーターなし



県立科学館

「科学の不思議」を見て、触れて、体験して、学ぶ」をテーマに、体験展示やサイエンスショー、スペースシアターや実験工作などを通じて、楽しみながら科学を体験できます。

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168



リニア見学センター

時速500kmで走行試験する超電動リニアを間近で見学できる日本唯一の施設です。平成15年に世界最高速度を記録した試験車両を展示しているほか、リニアジオラマやミニリニアなど、体験学習機能が充実しています。(リニア走行試験スケジュールはHPにて要確認)

都留市小形山2381
TEL 0554-45-8121
FAX 0554-45-8122



山梨散策

A stroll through Yamanashi

山梨県は、東京圏に隣接しながら、富士山、南アルプスをはじめとする自然景観や、鮮やかに移り変わる四季、さらに豊かな山々と森の息吹に育まれた清らかで良質な水を有する「水と緑の宝庫」です。

また、ブドウ、モモ、スモモに代表される豊かな果物、温泉やワイン、武田信玄ゆかりの史跡や文化財など、特色あふれる地域資源に恵まれています。

山梨県では、これらの素晴らしい魅力を発信し、観光客の誘致や移住・定住者の増加を図っています。



1 尾白川渓谷



2 明野のヒマワリ畑



3 新府桃源郷と南アルプス



4 富士川町高下から望むダイヤモンド富士



5 武田神社



6 猿橋 (日本三奇橋の1つ)



7 河口湖もみじ回廊



8 山中湖に映る逆さ富士

問い合わせ先

観光全般に関すること
観光文化政策課 TEL 055-223-3776

誘客の促進、国際観光の振興に関すること
観光振興課 TEL 055-223-1557

山岳観光、周遊観光の促進に関すること
観光資源課 TEL 055-223-1576

県内観光地や着地型観光に関すること
(公社) やまなし観光推進機構 TEL 055-231-2722

富士の国やまなし観光ネット [検索](#)



山梨県へのアクセス

甲府方面	身延方面
<p>●お車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 高井戸IC 中央自動車道/約1時間30分</p> <p>神奈川方面から 横浜市方面 海老名JCT 圏央道 約20分 J8C 甲府</p> <p>埼玉方面から 関戸IC 圏央道/約30分 中央自動車道/約1時間</p> <p>長野方面から 松本IC 長野道/約20分 岡谷JCT 中央自動車道/約50分</p> <p>愛知方面から 名古屋IC 中央自動車道/約3時間</p> <p>静岡方面から 静岡市方面 中部横断自動車道 国道52号線/約1時間 増穂IC 中部横断自動車道 中央自動車道/約20分</p> <p>御殿場市方面 国道138号線/約20分 須走IC 中央自動車道(大月JCT経由)/約1時間</p> <p>●電車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 新宿駅 JR中央本線/約1時間30分</p> <p>長野方面から 松本駅 JR中央本線/約1時間</p> <p>静岡方面から 静岡駅 JR身延線/約2時間20分</p>	<p>●電車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 新宿駅 JR中央本線/約1時間30分 甲府駅 JR身延線/約1時間</p> <p>静岡方面から 静岡駅 JR身延線/約1時間20分</p> <p>●お車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 高井戸IC 中央自動車道/約1時間20分</p> <p>愛知方面から 東京IC 東名高速/約1時間 1御 C 殿 国道138号線 須走 IC 東富士五湖道路 I 富 C 吉田</p> <p>愛知方面から 名古屋IC 東名高速・新東名高速 約2時間15分</p> <p>静岡方面から 静岡市方面 東名高速・新東名高速 約30分 富士IC・新富士IC 国道139号線 富士河口湖町</p> <p>●電車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 新宿駅 JR中央本線/約1時間 大月駅 富士急行線/約50分 河口湖駅</p>